SEIKO

掛時計

取扱説明書

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
(例：AMOOO、PWOOO、KGOOOなど)

フリーダイヤル
お客様センター 0120-315-474

発売元
セイコークロック株式会社

Printed in Japan ©

説明書番号 ARQ-001P

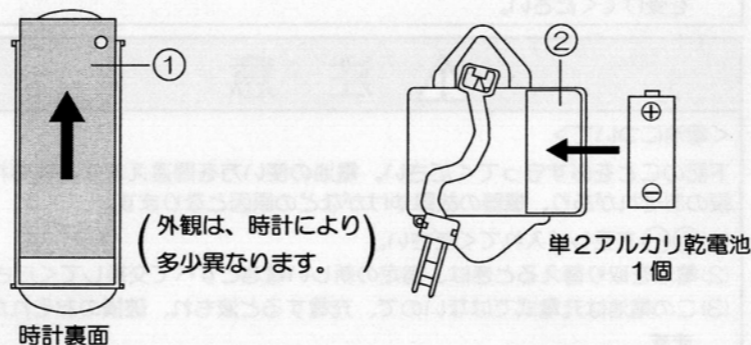
ご使用方法 ▶ (時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。)

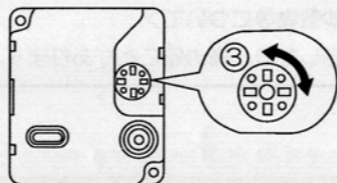
1. 時計の付属品を出してください。

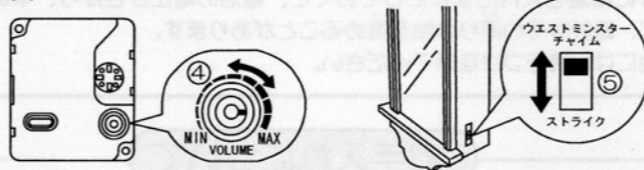
振り子　単2アルカリ乾電池 1個　掛金具

2. 電池をセットしてください。

A. 時計の裏のふた①を、上へ押し上げて、はずしてください。
B. 単2アルカリ乾電池1個を、電池ホルダー②にしっかりとはめこんでください。

電池を入れるときは、電池ホルダーの ⊕ ⊖ に合わせてください。

3. 時刻を合わせてください。

針回し③を回してください。左右どちらに回してもかまいません。

4. チャイムの大きさと種類を選んでください。

A.ボリュームつまみ④を回して、つまみ上の突起をMAX(最大)の近くに合わせてください。
B.曲切り替えスイッチ⑤を切り替えるたびに、チャイムとストライク音が交互に鳴ります。この音を聞きながらボリュームつまみ④を回して、音の大きさを調節してください。
C.曲切り替えスイッチ⑤を切り替えて、鳴音の種類を選んでください。
チャイムとストライク音またはストライク音のみの、どちらかを選ぶことができます。

曲切り替えスイッチ⑤を切り替えてチャイムを鳴らしたときは、メロディだけが鳴り、時刻の数を知らせる音(ストライク音)は鳴りません。時計を動かして時間が経過すれば、つぎの正時(0分)から正しく鳴り始めます。
また、電池を入れた直後、針回し操作をしないで曲切り替えスイッチ⑤をストライクに合わせても、ストライク音は鳴りません。
針回し操作を行なえば、正常に作動します。

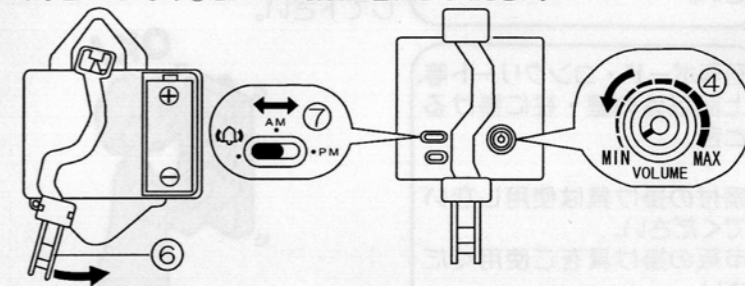
●チャイムの試し鳴らし
ボリュームつまみ④をMAX(最大)の近くに合わせてから、曲切り替えスイッチ⑤を切り替えてください。
切り替えるたびにチャイムとストライク音が交互に鳴ります。

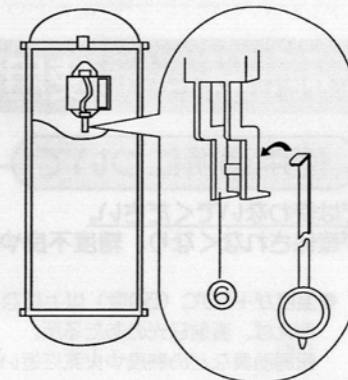
5. チャイムの音を鳴らしたり、鳴らさなくするには

常時鳴らしておく、昼間鳴らして夜間は鳴らさない、常時鳴らさない、の3通りの方法があります。
●振り子かけ⑥を右方向に引いて、ぶらぶらの状態にしておいてください。

常時鳴らしておく場合
スイッチ⑦を((Ω))に合わせてください。
1時間毎に正時(0分)に、チャイムまたはストライク音が鳴ります。

昼間鳴らして夜間は鳴らさない場合
今の時刻が午前ならば、スイッチ⑦をAMに合わせてください。
今の時刻が午後ならば、スイッチ⑦をPMに合わせてください。
これで午後11時から午前5時の間は、自動的に鳴らなくなります。

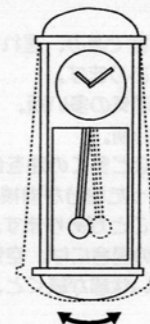
常時鳴らさない場合
ボリュームつまみ④をMIN(最小)に合わせてください。

6. 振り子を掛けてください。

振り子かけ⑥に振り子を掛けてください。
時計の裏から掛けますので、振り子も裏返しにして掛けてください。

7. 裏のふた①を、上からさしこんで閉めてください。

8. 時計を掛けてください。

"使用場所についてのご注意(裏面)"をご覧になってから、添付の掛金具を使って時計を掛けてください。

9. 時計の下側を左右に振って、振り子を振らせてから、時計を垂直にしてください。

必ずお守りください。安全上のご注意

⚠ 注　意

＜掛け方について＞

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがをする恐れがあります。
壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき

添付の掛け具をご使用ください。

石膏ボード・コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき

添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。

電池を入れ時刻を合わせたあと、時計を掛ける前にモニターボタンを押して、音を聞きながら、音量を調節して下さい。
また、掛ける時は時計を上下左右に軽く動かし外れないことを確認して下さい。

OK!

警　告

＜アルカリ電池について＞

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注　意

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)⊕⊖を正しく入れてください。
(2)電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
(3)この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

＜ビニール系素材の壁や敷物等について＞

壁や敷物および時計を汚したり、傷めることがあります。

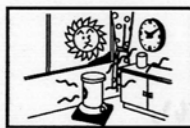
製品仕様

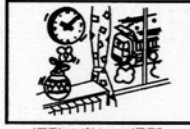
●精　　　　度：平均月差±20秒
（気温５℃から35℃で使用した場合）
●使用温度範囲：－10℃～+50℃
●使　用　電　池：単２アルカリ乾電池１個（ＪＩＳ規格ＬＲ１４）
●時　　　　報：チャイム・ストライク音切り替え式
夜間自動鳴り止め可能
音量調節可能
●電　池　寿　命：約１年
●報　時　精　度：±30秒（報時音の鳴り始め）

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

必ずお読みになってからご使用下さい。使用場所・電池・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

暑い場所（+50℃以上）

寒い場所（－10℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が+50℃（50度）以上になる所。
例えば、直射日光のあたる所。
暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。
プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
●塵、埃の多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車に挟まって時計が止まることがあります。
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。
●浴室などの湿気の多い所。
●振動の激しい所。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。

電池について

添付の電池は工場出荷時より付けられています。
時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

●時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
時計に電池を入れたままにしておくと、電池の電圧がさがり、中の液がもれて、時計やその周りの物を傷めることがあります。
●電池には水滴をつけないでください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。
変色、傷の恐れがあります。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

保証・アフターサービス

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
●この時計の修理用部品は、７年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。
また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。
お買上店とよくご相談ください。
●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。
●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●ご不明の点は裏面お客様センターにお問い合わせください。